

令和3年度第1回田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 議事要旨

開催日時 令和3年6月30日 10時～11時30分

場所 田原本町役場3階 301・302会議室

出席者 田原本町議会総務文教委員会委員長 梶木 裕文
(敬称略) 公立大学法人奈良県立大学地域創造学部教授 小松原 尚
田原本町商工会会長 山田 至完
一般社団法人田原本まちづくり観光振興機構理事 服部 誠
田原本町自治連合会会長 山田 国嗣
田原本町地域婦人団体連絡協議会会長 山岡 佐規子
株式会社ヨシケイライブラリー営業課長 山岡 洋之
田原本町PTA連合会会長 若林 宏文
株式会社南都銀行田原本支店支店長 秋山 利元
奈良中央信用金庫専務理事 谷野 守弘
社会福祉法人田原本町社会福祉協議会事務局長 藤本 勇樹

事務局 副町長 教育長 町長公室長 総務部長 住民福祉部長 産業建設部長
上下水道部長 教育部長 町長公室・産業建設部参事 産業建設部参事
企画財政課長 企画財政課長補佐 企画財政課政策企画係長

1. 開会

(事務局)

令和3年度第1回田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を開会する。

2. 町長挨拶

(町長)

挨拶

3. 委員紹介

(事務局)

令和3年度の推進委員の方を紹介

出席委員 11 名で、田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会規則第 5 条第 2 項により、委員会は成立。欠席委員は 5 名

4. 委員長選任

(事務局)

委員長は委員の互選により選出のため、意見を伺う。事務局一任の声により、事務局として前回委員長の小松原委員を推薦する。

－拍手により承認－

(小松原委員長)

委員長挨拶

5. 議題

(小松原委員長)

議案第 1 号、「第 4 次総合計画後期基本計画及び第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針について」、事務局から説明を求める。

(事務局)

資料 1：第 4 次総合計画後期基本計画及び第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針について説明

資料 1 別紙：第 4 次総合計画後期基本計画及び第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定スケジュールについて説明

(小松原委員長)

質問、意見を求める。

(服部委員)

田原本町は町長が熱心に施策を行っており、他の地域から見ると人口減少もほとんど変化もなく、プラスになっている。そういう意味で十分に施策が計画として成り立っていると思う。

(小松原委員長)

現状をさらにバージョンアップさせる意見だ。その他いかがか。交流人口に意味があり、受け入れに成功している。だからこそ計画を見直す必要がある。

(谷野委員)

国・県というか積極的に町長がいろいろ頑張っているのでもよろしくお願いいたします。

(若林委員)

小学校PTAでこの一年会議に出て、私の小学校では子どもの減少は進んでいないが東校区は過疎化が進んでいるのを実感する。小学校を持続できない不安を感じておられ、同じ田原本町内でも全く違うと実感した。東校区を元気にすることを考えたが、家を建てることに制約がある。東校区は土地があり、農業に力を入れれば農家の方も力をつけ経済発展にもつながると思っている。どんなことをすればよいのか考えが及ばないが農業関係の方をバックアップする仕組みができないか。北小学校も同じだ。地元で就職できる仕組みができないか。田原本で事業を立ち上げられる町になれば町の力は衰えないと思う。

(山岡洋之委員)

農業のことが出たが、以前お話した際には、イチジクのお話、道の駅でのソフトクリーム化などを提案した。農業面で、町でできるスイカの苗を使わないと大和スイカとは言えないなどの話があり、そういったメリットを生かすなどのいい話があったのだが、今回のアンケートでは全体を見るとそういった面が外れていると思う。

(小松原委員長)

交流、人の移動については実現されているが定住定着について、特に1次産業についての計画補助金を使った対策、対応について役場の考えはいかがか。

(産業建設部長)

東校区の人口減については、調整区域で一般の家は建てられない。現状空き家が増えており、それを食い止めるための施策としては、自治会向けに、区域指定の集落の同意があれば区域を指定することで一般の方が土地を買える仕組みがあると案内している。計画をすることで一般の方が自由に家を建て替えることは可能である。調整区域の集落では数か所そういった案内をさせてもらっている。

農業のバックアップについては、現状農業人口の高齢化があり、町としては自給率向上の対策補助金を設けている。町が推進している作物、なす、すいか、いちご、ホウレンソウ、トマトなどに対して補助をすることが可能である。後進作物に利用してもらって農業離れを止め、農業を推進するために準備している。高齢化が深刻なのが現実である。

イチジクは推進しようという話があったが、現状伸びていないのが事実であり、町としてそれに代わるものを探さなければならないと認識している。イチジクはしんどいというのが現状であり、ご理解いただきたい。

(秋山委員)

農業振興については、作って売る仕組みがないと新しい方はなかなか入ってこない。広陵町や大和高田市では KoCo-Biz という、お金をかけずにブランディングをして全国展開をしていこうと特徴を出している。そういった仕組みを活用してはどうか。

(産業建設部長)

実際新しい農業者を受け入れる体制は、田原本町の特定農業振興ゾーンを法貴寺、八田に指定されている。二つの集落とも地域の特徴を活かして担い手さんががんばっているが新しい方が入らないと衰退すると認識している。法貴寺では4月から新しくいちごを作っているが、販売に力を入れるのは当然なので町で協力して少しでも農業で生計を営んでいただける施策を取る。

(服部委員)

今までは観光協会という団体だったが今はまちづくり観光振興機構という形になり、色々画策してお金のかからない方法で商品の発信を行っている。同時に思うのは、駅前の西側は開発を進めているが、もともと栄えていた東側は空き店舗が増えている。人の流れは駅を中心に西側に広がっているのが現状であり、人が歩いていない町はさみしいものなので、町として計画を考えていただきたい。機構の希望としてはいろんな形で事業としてやっていきたい。いろいろな意見があれば事務局に意見を言ってほしい、できる範囲でやっていきたいと考えている。

(小松原委員長)

駅前の商店街は、どこの町に行っても町の顔なのでそれをしっかりやっていきたい。また、何を作るか、どう売るかについて意見が出た。その他の意見を募る。

(秋山委員)

駅前の商店街に関しては、長期的なビジョンになるが個人的意見として、近鉄田原本は急行停車駅にも関わらず、観光客にとっては通過駅になっている。伊勢神宮のおかげ横丁のような特色のあるものを作れないものか。人も集まる集積地として活用できるのではないか。田原本は飛鳥、奈良、吉野の中間地点である。宿泊も可能となるので、そのような取り組みをすれば地域の活性化になる。

農業振興については、当行も地域活性化のための事業会社を作る。田原本ではスイカやバンビーナメロンなど、いいものがあるので売り出したい。

(山田国嗣委員)

道路事情の件で計画はされていると思わないが、役場の前では極端に道が狭くなっている部分がある。メイン通りになり、オークワができて交通量多く、拡張で

きないにしても川を暗渠とするなど早急に対処をしてもらわないと、西から来る者にはつらい。

(小松原委員長)

道の問題は子どもの安全にとっても重要である。その他意見がなければ次の議題へ移る。

議案第2号、「アンケート調査結果について」事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料2：アンケート調査について【概要】を説明

(谷野委員)

アンケート2ページの結果で、無作為抽出ということだが、70代と20代に個数の差があるが、この違いはもともとの個体数に差があるということか。人口比でこのような差になっているのか、それとも回答数が少ないのか。

(事務局)

このアンケートは年齢別ではなく、無作為に選んでいる。ただ、均等にしているので回答もだいたい人口の割合状況に近い状況である。

(谷野委員)

返ってくるのは半分弱で、半分ずつの回答が同じ年代で返ってきたということか。

(事務局)

全体として人口ピラミッドに近い状況の回答である。

(谷野委員)

5ページでは交通の便が良くないという回答が特筆して多いが、個人的には交通の便は良いと感じていて納得がいかない。町内の移動手段が不便だということか。

(町長公室・産業建設部参事)

交通の便が良くないの意味は、11ページのこの4年間で特によくなくなったと思われるまちづくりの施策について、公共交通機関の確保11.5%で最も高いという回答と合わせて解釈をすると、大阪へのアクセスというよりは、町内の公共交通環境が良くないとの指摘だと思われる。町内の路線バスが廃止、現在は鉄道とタク

シーしか公共交通がなく、町域の東、西に公共交通の空白地域があるという認識がある。町の施策にタワラモトタクシー初乗り料金助成事業があるが、70歳以上など補助の条件が絞られている。幅広い方に安価でどこにでも行ける手段がない結果がアンケートに現れている。現在、地域公共交通活性化協議会の中では定時定路線バスの導入を提案しており、今年度中に一定の方向性を示し、来年度以降に具体的な取り組みとして実行したいと考えている。

(谷野委員)

色々なアンケートがあるが、田原本町内での前回との比較だが、他地域との比較が分からない。市町村同士で協議しながらやればよく分かると思う。一度、連携してアンケートを取ってはどうか。あって交換しているか分からないが、他地域との比較が知りたい。

(小松原委員長)

今あるかどうか。環境が同じところでやったらどうかということか。今のところ計画はあるか。

(事務局)

特に今のところ計画はないが、貴重なご意見なので参考にさせていただく。

(山田至完委員)

広域の話し合いはやっているのか。

(事務局)

定住自立圏について、広域で天理市、山添村、川西町、三宅町と行っている。

(山田至完委員)

5市町村で住宅関係や人の流れの話を年に何度か行っていると思うが、そこで出てきたものがあるはずだ。

(事務局)

アンケートという趣旨で言わせてもらった。

(山田至完委員)

色々な意見が出てきているはずだ。実際に天理市の柳本の方は、天理から田原本にバスを出してほしいと言っている。今は天理から川西へバスが出ており、広域

のバスの運行もやっている。柳本の人には天理へ行くより田原本に行きたい。そういう意見も出ている。それを把握するべきだ。

(小松原委員長)

広域に関しては情報の収集と同時に定義することをうまくかみ合わせなければならぬ。急行停車駅との指摘について、便利だが将来のまとまりとしてどう移動できるかという回答にもなる。その他どうか。

議題3、「第4次総合計画前期基本計画の進捗状況について」事務局から説明を求める。

(事務局)

資料3：第4次総合計画前期基本計画の進捗状況について説明

資料3別紙：第4次総合計画指標達成状況（令和元年度実績）について説明

(山岡洋之委員)

基本目標5賑わいと活力あふれるまちづくりのところで農業があまりできていない。田原本には磯城野高校という、農業科を設置する高校があるが、そこをコラボするのはどうか。テレビのことになるが青空レストランで商品が紹介されるなどがあるが、こういった計画はあるか。

(産業建設部長)

磯城野高校とは交流をしている。町の特産品の大和伝統野菜味間いもについてどうしたらうまく作れるか、授業に取り入れて取り組んだ。また、磯城野バーガーを道の駅で販売をしており、これからも高校とよりよい関係を築いていきたい。

(若林委員)

文化財に関して、様々な文化財が点在して豊富にあるということだが、活用できないか気になっているものがある。新町の通りから200mほど入ったところに網がかかったまま放置してある家がある（竹村邸）。地震が起きれば、活用できないうえに危険な恐れがある。対策を取った方がよい。文化財の保存にこだわる場合ではない。そんな場所は他にはないか、危惧している。

(教育部長)

新町の竹村邸については状況が危険だという点は伝えてあるが、進んでいない。再度連絡を取り、進めていきたい。

(小松原委員長)

保存するのか、壊すのか、所有者の問題にかかわるが、方向性は。

(教育長)

竹村邸の所有者様とは話をしている。文化財として残すという方向では進んでいない。専門の学者を交えての話をしたが、文化財として残す場合は億単位のお金が必要であるとのことだ。細部についてはこれから詰めていく。

(小松原委員長)

他からもご指摘をいただき通学路を含めた広い意味での教育環境に関わることだと思う。

(谷野委員)

駅前開発に対しては、1階がテナントになっている。役場や商工会の関わりはどのようになっているか。商工会も関わっていただき町が一体となって盛り上げていただきたい。3年後のことなので、どういうテナントを入れてどういう形でやっていくのか。例えば小さい区画で地元の方が入るのか、他から来るのか。商工会も役場も、全体で盛り上げてほしい。

(産業建設部長)

駅前のビルは1階が商業施設と計画している。区画に関しては順番に話をし、町の活性化がそもそもの目的である。町内の事業者を含め、有効な業者に入ってもらえる店になるように話を進めたい。商工会の方とも話をし有効に進めたい。

(小松原委員長)

町の内外問わず来てもらいたいということだ。ほかにどうか。

(服部委員)

子どもが安全に利用する道と考えると、田原本は、整備はされているが町中がとても狭い。住民はよく知っていて注意しているが、外から来た方は細すぎて走るのが怖いとの話だ。千葉県で飲酒運転での事故があったが、いろいろなことが起こってくる。先日なにわナンバーの方が、十分に間があるのに当てて事故だと警察を呼ぶようなことがあった。広くするのは難しいが、いい方法はないものか。子どもの飛び出しをしないように書いてあるが、特に公園では子どもは左右を見ずに来るので車が驚く。スマホを持って運転する場合は罰金だが、町の中で走っている人もいる。そういう面でも誰もが安心して通っていける道について、施策が必要だと感じている。

(小松原委員長)

計画の方針として、安全、安心の確保、その次に交流拡大を提示していく方向でお願いしたいということだ。ほかにどうか。

(藤本委員)

質問ではないが、アンケートでは、コロナ禍で心の健康の比率が高い。私どもはコロナ禍の仕事を失った方の相談を受けている。町中の経済発展と町民の中で苦しい状況におられる方の連動できるしくみを視野に入れて計画ができれば素敵だと思う。初めての参加で恐縮だが、感想のようなものだがよろしく願います。

(小松原委員長)

弱者の意見が吸い上げられてこそ新しい町になるというご意見だ。よろしく願いたい。

6. 次回開催日程

(小松原委員長)

次回開催日程について、事務局からの説明を求める。

(事務局)

次回開催日程について説明。

(小松原委員長)

これですべて終了した。ありがとうございました。

7. 閉会